News Release

2013 年 1 月 18 日

各　位

会 社 名　参　天　製　薬　株　式　会　社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長 兼 ＣＥＯ　黒 川　明
（コード番号　4536　東証・大証第１部）
問合せ先　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞｬｰ 日比貴史
（ＴＥＬ　０６－６３２１－７００７）

緑内障・高眼圧症治療剤「タプロスミニ点眼液 0.0015％」の製造販売承認を取得

参天製薬株式会社（本社：大阪市東淀川区）は、2013 年 1 月 11 日付で、厚生労働省より緑内障・高眼圧症治療剤「タプロスミニ点眼液 0.0015％」（一般名：タフルプロスト）の製造販売承認を取得しましたので、お知らせいたします。

「タプロスミニ点眼液 0.0015％」は、旭硝子株式会社（本社：東京都千代田区）と共同開発し2008年より発売している緑内障・高眼圧症治療剤「タプロス点眼液 0.0015％」と同じプロスタグランジン $F_{2\alpha}$ 誘導体の治療剤で、同化合物を同濃度含有し、同等の眼圧下降作用を有する、防腐剤を含まない一回使い捨て無菌ディスポーザブルタイプ容器入りの点眼剤です。現在、プロスタグランジン $F_{2\alpha}$ 誘導体の治療剤は、緑内障・高眼圧治療における第一選択薬として最も多く使用されています。

緑内障は、眼圧の上昇などによって視神経が障害されて視野欠損が進行し、放置されると最悪の場合失明に至る病気であり、眼疾患による視覚障害（視力低下、失明）の主な原因となっています。緑内障の視神経障害および視野障害は、基本的には進行性で非可逆的であるため、眼圧の下降および長期にわたるコントロールが治療方法の基本です。慢性疾患で治療が長期にわたることから、防腐剤のベンザルコニウム塩化物（BAK）等にアレルギーを示す患者さんや重度の角結膜上皮障害を有する患者さんには、BAK 等の防腐剤を全く含有しない製剤が求められております。

参天製薬では、現在数種類の緑内障治療剤を既に販売しておりますが、今後防腐剤を含有しない「タプロスミニ点眼液 0.0015％」が製品ラインナップに加わることで、より多くの治療の選択肢を医療の現場に提供でき、患者さんの QOL（クオリティ オブ ライフ、生活の質）向上に貢献できることを期待しています。

＜概　要＞

販売名	タプロスミニ点眼液 0.0015％
一般名	タフルプロスト
剤型	防腐剤を含有しない一回使い捨てディスポーザブルタイプ容器入り水溶性製剤
効能･効果	緑内障、高眼圧症
用法･用量	1回1滴、1日1回点眼する
保存方法	2～8℃保存

特徴:

- 現在、第一選択薬として最も多く使用されているプロスタグランジン $F_{2\alpha}$ 誘導体の緑内障･高眼圧治療剤で、防腐剤を含まない点眼剤です。
- 1 回使い捨てディスポーザブルタイプ容器入りの製剤です。
- 「タプロス点眼液 0.0015％」と同じ有効成分を含有し、同等の眼圧下降作用を示します。

以上

本件に関するお問い合わせ先:

参天製薬株式会社

コーポレート･コミュニケーショングループ

Tel: 06-6321-7007

参天製薬の将来見通しに関する注意事項 (Forward-Looking Statements)

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(“Forward Looking Statements”)が含まれています。これらの見通しの実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。